

議 長	休憩前に引き続き、会議を再開いたします。
議 長	一般質問の前にですね、池田課長より訂正の発言がありますのでお願いいたします。 池田課長。
池 田 税 務 課 長	はい、先程、津島議員から一般質問で住宅家賃の財源についてという問いがありましたが、私、一般財源と申し上げましたが、特別財源の間違いでございます。修正してください。よろしくをお願いいたします。特定財源でございます。以上です。
議 長	はい、では、質問順位 6 番 10 番議員 森脇明美議員。
森 脇 議 員	はい、議長。
議 長	森脇明美議員。
森 脇 議 員	通告に基づきまして一般質問を行います。 防災について、今回は最初に伺います。 直近では、震度 5 強以上の地震が 4 月 18 日には長野県北部、4 月 27 日には十勝地方南部、5 月 20 日には沖縄本島近海でも起こり、数えきれないほどの弱震度の地震がおき、南海トラフ地震への恐怖を感じています。また、国土交通省と気象庁では 5 月 28 日に大雨警報などの防災気象情報が一新され 5 月 29 日より運用が開始されました。種類や名前が変更となり新しい防災気象情報では、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮の 4 種類について 5 段階の警戒レベルに整理され、レベルの数字が付加されています。これまでの大雨警報では「レベル 3 大雨警報」「大雨特別警報」と発表されるようになりました。また、警報と特別警報の間には情報があるものと無いものがありますが、この間に警報レベル 4 という新しい「危険警報」が新設されています。レベル 4 では「避難指示」発令の目安となる警戒レベルで危険な場所から全員避難する目安となりま

す。

先日の台風 6 号と梅雨前線で記録的な大雨となり、東京・神奈川・千葉の 3 都県で一時、計 1 6 0 万人の警報レベルの「避難指示」が出されました。交通機関の乱れや市街地の冠水が相次ぎました。

このように新たな「防災気象情報」が活用され、住民にとって分かりやすい情報提供になっているように思います。国内で頻繁に発生する地震への対応や防災気象情報への変更など防災意識は日に日にましています。

そんななか、昨日 6 月 1 4 日に県主催の防災訓練が行われましたが、目的と内容についてお尋ねします。

松 井 企 画
総 務 課 長

議長。

議 長

松井企画総務課長。

松 井 企 画
総 務 課 長

今回の防災訓練についての目的と内容ということでございます。

まず今回の目的でございますが、この訓練は山口県の防災訓練の中で行ったものです。

山口県では、毎年、県民局単位で総合防災訓練を実施しております。その目的、4 つ、4 項目ございます。まず 1 つめが「災害時における対応の手順等の確認・習熟」、2 つめが「住民主体の訓練による自助・共助の推進」、3 つめが「防災関係機関の連協強化」、4 つめが「防災意識の高揚に向けた普及啓発」でございます。

町では、本訓練は県主催である事を踏まえまして、この和木会場におきましては「災害対策本部訓練」、「消防団訓練」、「防災イベント」、この 3 つの訓練を行いました。

訓練の内容でございますが、まず、災害対策本部訓練では、「災害時における対応の手順等の確認・習熟」という目的に沿いまして、災害の中でも厳しい対応が求められる南海トラフ

地震の発生を想定し、その発災時からの災害対策本部として求められる、初期対応について、シナリオに基づいた訓練を行い、災害対策本部職員及び消防団本部による人命救助・安全確保のための状況判断および処置・対応への能力を向上させる訓練を行いました。

次に、「防災関係機関との連携」でございますが、に沿ったものでございます。町の防災対応組織である消防団の災害対応能力の向上を図る。こういったことを目的として、災害対策本部訓練に連携した消火及び倒壊家屋からの救出を実働により訓練し、消防団の災害対応能力を向上させる訓練としております。

最後に、「住民主体の訓練による自助・共助の推進」「防災意識に向けた普及啓発」この目的に沿って、住民を対象とした「防災イベント」を中学校体育館の方で実施をいたしました。その前半でございますが、会場内に町職員、消防団、関係機関・様々な団体が実施する 13 か所の防災ブースを開設いたしまして、来場者の、来られた方の興味、関心に応じて自由にご覧いただく、研修していただく、体験していただく、というものを行いました。

後半では、山口県赤十字防災奉仕団の 城浩之（じょうひろゆき）団員及び竹下真紀（たけしたまき）団員による「防災講話」を行っております。最後になりますが、町長から、参加された住民の皆さまや消防団、消防組合、その他多くの関係者に対し、お礼と慰労のあいさつで訓練を締めくくりました。

来場者の防災意識の高揚と自助、共助への理解をいただくとともに、防災学習の一環といたしまして参加及び支援をいただきました、和木中学校 1 年生の皆さんには、自身や家族を災害から守る知識とともに、将来の防災の担い手としての学びと意識の高揚を図ることができたというふうに考えております。

森 協 議 員

はい、議長。

議 長

森協議員。

森 脇 議 員 ただ今、いろいろ 4 種類の訓練とかいろいろ説明していただきました。私も参加させていただき、防災イベントの会場での防災ブースコーナーではいろいろ余色立体図っていいまして、アナグリア、アナグリフと言いまして、右目は赤、左目は青のフィルムを塗った眼鏡で見るような体験とか、それから消火器を実際に使用する体験等、様々なブースで興味深く大変勉強になりました。

多くの職員の方が参加されたようですが、参加状況はどうだったのでしょうか。会計年度任用職員の方は避難訓練等には参加されているようですが、今回はどうだったのでしょうか。

議 長 松井課長。

松 井 企 画 今回の訓練の参加状況でございますが、町職員は全職員が
総 務 課 長 参加という事で進めております。役割を持った職員、それから役割は持ってないんですが、どのような組織的な動きをしているかとか、自分がじゃあどう今後対応していったらいいのかということでですね、全職員、一般職員を出させました。

それから会計年度任用職員についてでございますが、基本的に会計年度任用職員の方に、この防災訓練の参加は求めておりません。

ただし、会計年度任用職員であるんですが、危機管理監は、「防災に関する事項」というのが契約事項となっておりますので、本訓練の参加・企画・立案の責任者として参加をしております。

以上です。

森 脇 議 員 はい、議長。

議 長 森脇議員。

森 脇 議 員 はい、参加については理解できました。

今回の防災訓練への町民の参加はどの程度だったのでしょうか。

自治会単位等への参加はつのられたのでしょうか。お伺いします。

松 井 企 画
総 務 課 長

はい、議長。

議 長

松井課長。

松 井 企 画
総 務 課 長

昨日行われました防災訓練への町民の参加ということでございますが、防災イベントへの住民参加についてお答えをいたします。

まず5月の文書配布において本防災訓練のチラシを全戸配布をしております。それから防災イベント開催後の受付をしておるところでの集計数字、これは昨日でございますので、速報値ということでお受け取りいただければと思います。一般の方々172名です。中学生が参観日と防災の訓練と一緒に1年生が行ったんですが、中学生が54名、来賓、それから議員の皆さん、県議会の方々などもご参加いただいとると思いますが、約30名というふうに聞いております。この数字はまた今後ですね、正式な数字が私どもの手元にも届くものと思っております。

参考ではございますが、今回と同様の内容で実施いたしました、令和6年10月の町総合防災訓練での防災イベントでは、約120名の方が来場されております。

過去のイベントより、多くの来場を頂きました要因といたしましては、令和6年の防災訓練で実施いたしました、防災イベント等々の内容をですね、住民の方もご承知いただいたことや、町が進めております個別避難計画の作成、それに基づく訓練、それから防災に関する各種施策の推進等を通じて、徐々にではございますが、町民の皆様に、防災への関心、それからその必要性について、理解が深まってきているのではないかと

いうふうに考えております。

続いて「自治会の参加」はどうかというところでございますが、自主防災組織として参加されたと、自治会として参加されたという情報はこちらにはありませんが、先般 5 月 25 日に行われました行政懇談会の場において本訓練への説明とご案内を行っております。そうしたことから自主防災組織としての参加ではなく、一般町民としてですね、個別に参加していただいたのではないかとというふうに考えております。

今後の訓練におきましても、自主防災組織への訓練等の場を提供をしてまいりたい、というふうに思っております。それぞれの自主防災組織の訓練や趣旨、地域性などを考慮いただきご参加をいただきたい、というふうに考えております。

森 協 議 員 はい、議長。

議 長 森協議員。

森 協 議 員 はい、防災訓練については多くの参加があったようで、大変盛況でよかったと思います。今年度は中学生の参加もあり、将来の防災の担い手としての学びと意識の高揚も図られたということで、大変よかったように思います。

前町長時代に、災害が起きた時、自治体同士が助け合う為の協定「ささつな自治体協議会」が設けられていますが、この協議会の内容を改めて説明いただき、その後の継続がされているのか伺います。

松 井 企 画
総 務 課 長 議長。

議 長 松井課長。

松 井 企 画 まず、ご質問のささつな自治体協議会でございますが、改めてちょっと振り返ります。名称の「ささつな」は、「ささえる」

令和 8 年第 3 回(6 月)定例会

それから「つながる」という由来でございます。現在 50 名を超える自治体の首長が参加しているということでございます。本協議会では、加入している、それぞれの首長の対話と連携によって地域課題の解決を図ること、それから同時にですね、地震や台風といった災害時において相互支援を行うという団体という位置づけとなっております。

本町は、平成 27 年 5 月に、本協議会に加入するとともに、災害支援協定に締結し、現在におきましても、協議会組織及び災害支援協定に継続して加入をしております。

なお、この災害支援協定でございますが、設立当初 6 自治体からスタートしたそうでございます。現在では、協定締結が 21 自治体、それからその中で、それと防災研究会というものもございます。別でございます。こちらの方には、加入が 8 自治体、合計で 29 自治体が参加しておるというふうに確認をしております。

森 協 議 員 はい、議長。

議 長 森協議員。

森 協 議 員 はい、今、ささつな自治体協議会について説明をいただき、これからも継続はされるということで安心をいたしました。これ以外の近隣の市町村との協定は結ばれているのか、また協定を結ぶ考えがあるのか、お尋ねいたします。

議 長 松井課長。

松 井 企 画 はい、和木町が締結している自治体との協定について回答
総 務 課 長 さしていただきます。和木町では、防災への価値観を共有する自治体と協定を締結することとしておりまして、いくつかございます。先程申し上げました「ささつな自治体協議会 防災研究・災害支援協定」こちらの方にも加入しておりますし、「石油基地自治体協議会加盟団体災害時相互応援協定」、それから

「姉妹都市災害相互応援協定」、「山口県及び市町村相互の災害時応援協定」、こちらの方に自治体間としては加入をしてございます。

森 脇 議 員 はい、議長。

議 長 森脇議員。

森 脇 議 員 はい、様々な協定を結んでおられ、今後の災害にあってもいろいろ助け合えるんじゃないかと思います。

次に幼稚園の跡地利用と保育所の跡地利用について伺います。これは先程からいろいろ皆さんも質問されておりますが、再度質問いたします。

和木保育所は、昭和 5 4 年に開園され、敷地面積は 1 2 8 0 m²で、2 0 1 9 年に統合開設された幼保連携型認定こども園として運営されています。保育所の跡地は、令和 7 年度 2 7 5 0 万円で解体され更地になりました。今までに土地利用については再三質問しておりますが、再度土地利用はどうされるのか伺います。

議 長 松井課長。

松 井 企 画 先程、何人かの議員さんにもお答えしたところで、これまで
総 務 課 長 もお答えしてきたところでございます。

まず旧保育所でございますが、ちょっと簡単に言いますと、先程もちょっとお答えしたんですが、民間地域お借りしてる借地部分もございます。そういったところと今後どのように扱うのか。それから境界の確認等々そういった手順も踏んでいかなければいけないということから、それを進めているという状況でございます。

から旧幼稚園跡地でございますが、今年度はアスベストですかね、調査を行うという状況でございます。

いずれにいたしましても具体的な方針が固まり次第、速やか

に議員の皆さまに、こういった方向で進めていくのかということをお示ししたいというふうに考えております。

森 脇 議 員 はい、議長。

議 長 森脇議員。

森 脇 議 員 はい、保育園、幼稚園共今後検討していくということで、早い検討を望んでおります。

次に、給食センターについてお尋ねします。

先程からいろいろ同僚議員も質問されていますが、今年度の年度ごとの予定や金額を伺います。

議 長 鳥枝教育委員会事務局長。

鳥 枝 はい、今後の予定、年度ごとの予定、金額についてですけれども、今年度、令和 8 年度は基本設計業務を実施します。上限額は 9, 6 5 8, 0 0 0 円で、施設の規模や厨房設備内容を具体化し、概算工事費を算出いたします。

教育委員会
事 務 局 長

令和 9 年度実施予定の実施設計業務は、債務負担でございますが 2 4, 0 3 5, 0 0 0 円を上限額とし、詳細な仕様や数量を確定し、より精度の高い事業費を算出することとしております。令和 1 0 年度、1 1 年度で建設工事の予定でございますが、工事費については現時点では不明でございます。

森 脇 議 員 はい、議長。

議 長 森脇議員。

森 脇 議 員 はい、今、基本設計業務と、それから概算工事費等が説明されましたが、令和 1 0 年度と 1 1 年度に建設工事の予定という事なんです、令和 8 年度こども園の入園者数は 2 9 名、小学校の入学者数は 5 6 名、中学校の入学者数 6 1 名で、今後配食

数も減少していくと考えられますが、予定では 9 0 0 食の配食数を着々と進められています。今後変更はないのか伺います。

議 長 鳥枝局長。

鳥 枝 はい、基本計画で設定した 9 0 0 食で変更はございません。
教育委員会 総合計画の令和 1 2 年の人口目標、これ 5, 5 5 0 人ですけれども、それから今の基本計画をもとに、最大で 9 0 0 食を提供できるよう設定しております。

森 協 議 員 はい、議長。

議 長 森協議員。

森 協 議 員 はい、今、説明がありましたように最大 9 0 0 食で提供できるように設定しているということで理解いたしました。

前年度の総務委員会の回答によれば、今後の配食数について出ていないということでしたが、令和 1 2 年度第 2 学期から供用開始と聞いているので、配食数については調査されているのでしょうか、伺います。

議 長 鳥枝局長。

鳥 枝 はい、今後の、今後の配食数の見込みにつきましては、運用面からも、今年度の基本設計業務に合わせ、調査したいと考えております。

なお、実際に配食する場合の食数についてでございますが、提供する日現在の、教職員を含めた児童生徒の在籍数の実数をもとに調理し、配食をすることになっておりますので、9 0 0 食あるからといって 9 0 0 食作る訳ではございません。

森 協 議 員 はい、議長。

議 長	森脇議員。
森 脇 議 員	はい、現在給食センター整備への基金が始まっていませんが、財源等の見通しを伺います。
松 井 企 画 総 務 課 長	はい、議長。
議 長	松井課長。
松 井 企 画 総 務 課 長	財源等の見通しでございますが、米空母艦載機部隊配備特別交付金を充当することを見込んでおります。現時点、正確な建設費用は算出されておられませんことから、具体的な金額等をお示しするのは、ちょっとこの場では難しいんですが、この交付金のほか、起債、一般財源なども必要になってくるというふうに考えております。
森 脇 議 員	はい、議長。
議 長	森脇議員。
森 脇 議 員	はい、米空母艦載機部隊配備特別交付金の補助金を給食センターに充てていく考えに変更はないでしょうか。
松 井 企 画 総 務 課 長	はい、議長。
議 長	松井課長。
松 井 企 画 総 務 課 長	和木町給食センターを建設するにあたり、この米空母艦載機部隊配備特別交付金を充てていくという考えに、方向性に変更はございません。 すでに、防衛省とは、給食センター整備基本構想に始まりま

して、基本計画を提示し、交付金の活用に向けた協議を行っております。

はい、以上でございます。

森 協 議 員 はい、議長。

議 長 森協議員。

森 協 議 員 はい、今、いろいろ説明をいただきました。今後防衛省へ毎年度、国の予算を活用できるよう働きかけをされるのか伺います。

坂 本 町 長 議長。

議 長 坂本町長。

坂 本 町 長 はい、ただ今森協議員より米空母艦載機特別交付金、国へ要望というご質問でございます。

議員ご承知のことと思いますが、和木町と山口県、岩国市、柳井市、周防大島町で構成する「山口県基地関係県市町連絡協議会」や岩国基地問題議員連盟連絡協議会、大竹市などと連携し、様々な機会を捉え、国に対し定期的に要望活動を行っております。

先般、6月10日、11日の2日間、県知事や県議会議員、県会議員や地元の市長、町長、地元議会議員、経済団体の代表者とともに、毎年行っております、要望活動を実施いたしました。和木町からは、私と兼本議長、町商工会会長である津島議員も出席し、関係各省庁に対し、小泉防衛大臣や林総務大臣、堀井外務副大臣に対し、岩国基地関連の安心・安全対策の推進と地域振興策の実施について要望書を提出したところでございます。

小泉防衛大臣とは一対一でお話しする機会もありましてですね、給食センターぜひともこの交付金、ということでお話

しましたら、小泉防衛大臣も出身は横須賀ということで、横須賀市もですね、以前この給食センターの要望をしたと、私は以前要望する側だったが、今度は要望を受ける側に回ったと、私の要望を真摯に聞いていただきました。それから、林防衛大臣もですね、自民党本部二木会で私がお話しましたところですね、この再編交付金以外、補助裏等々についてもですね、非常に心配していただきましたので今から、防衛省 小泉防衛大臣と総務大臣 林芳正総務大臣からですね、いろんなアドバイスがあればいいかなと思うと同時にですね、この交付金、確約していただきたいものと考えています。

ちょっと余談が入りましたが、その中で、地域の安全はもちろんのことではございますが、基地周辺自治体として、我が国の平和と安全への大きな貢献に見合う地域振興策の充実を求め、この交付金の確実な予算措置を要望しております。

今後におきましても、県や関係市町と連携し、継続して要望してまいりたい、このように考えております。

森 協 議 員 はい、議長。

議 長 森協議員。

森 協 議 員 はい、様々な場面で継続して要望していただけるということ
でよろしく願いいたします。

今後、防災用の倉庫や住民の利用等ができる、複合施設としての、複合施設としての考えはないでしょうか、伺います。

坂 本 町 長 議長。

議 長 坂本町長。

坂 本 町 長 はい、防災倉庫や複合施設としての考えはというご質問ですけど、令和 7 年第 4 回 9 月定例会で同僚議員から、学校給食

令和 8 年第 3 回(6 月)定例会

センターに避難所を併設したらどうかというご質問をいただきました。また、令和 7 年 1 1 月 1 7 日開催の出前町長室でも同様に、避難所としての活用はできないかというご質問をいただいております。その時にも回答させていただいておりますが、新たな学校給食センターにつきましては、建設コストを少しでも抑えるために、必要最低限の機能を考えているところであり、これまでの考えに変更はございませんので、どうかご理解いただきたいと思います。

森 脇 議 員 はい、議長。

議 長 森脇議員。

森 脇 議 員 はい、現在の社会情勢が不安な中、資材の高騰も考えられます。十分な財源の確保をして頂き、安全で安心な給食センターの建設のため、着々と計画が進めていかれるということで理解してよろしくをお願いします。
以上で一般質問を終わります。

議 長 坂本町長。
ちょっと待ってくださいね、森脇さん。

坂 本 町 長 今、答弁の途中、再編交付金という発言をさしていただきましたんですけど、米空母艦載機特別交付金が正解でしたので訂正をさせていただきます。誠に申し訳ございませんでした。

議 長 はい、よろしいですね。はい。

議 長 再質問がないようですので、以上で森脇明美議員の一般質問を終わります。

議 長 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

議 長 本日はこれで散会したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。

議 長 本日はこれで散会いたします。
みなさんお疲れさまでした。

閉 会 12 時 21 分